

令和5年度

事業報告書

貸借対照表

正味財産増減計算書

及び財産目録等

公益財団法人 有隣会

事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年5月8日の新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、「語らい座 大原本邸」事業外、当会の活動も通常の状態に戻った。

「語らい座 大原本邸」は大原孫三郎、總一郎をはじめとする大原家の事績、思想を伝え、自身の今後に役立つ「気付き」を与える場を目的としている。その入館者数は本年度、開館以来最多となった。

また開館以来、継続開催している「くらしき未来K塾」に加え、前年度より開始した「くらしき町家留学」にも、小・中学生、高校生、新入社員を中心に参加者が増えており、大原家関連施設とも連携し、大原家の事績を題材とした、教育支援、人材育成事業としての活動を広げている。

その他、「大原總一郎日記研究会」では、倉敷に研究者が集まり、初めてとなる研究成果の報告会を開催した。

財務面では、入館料収入をはじめとする事業収益が31,226千円と過去最高となり、一方で人件費等、経費の削減に努めた結果、当期一般正味財産増減額（指定正味財産からの振替前）は▲110千円となり、期末正味財産は12,213千円（前期比▲110千円）の微減に留まっている。

主な活動は以下のとおり。

1. 語らい座 大原本邸事業

(1) 入館者数、入館料収入等

<入館者数（有料）> (人)

合 計	一 般	高校生以下
45,586	44,161	1,425

「語らい座 大原本邸」の入館者は、期初には低迷したものの、6月以降順調に伸び、当年度 45,586 人と過去最高となった。入館者の増加には、コロナからの回復とともに、公開から 6 年を経過し、旅行会社の定期コースへの組入れとなるなど知名度も向上していること、教育事業に伴う入館者の増加、また外国人客の増加等の要因がある。

入館者の増加に伴い、入館料収入も過去最高の 23,299 千円となったが、これには旅行会社との特別企画設定による特別入館料も大きく寄与している。

その他カフェ収入 6,463 千円、くらしき町家留学等のセミナー収益 1,464 千円（除く、倉敷市助成金 700 千円）となっている。

<入館者数 推移> (人)

平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
33,360	32,140	16,670	16,734	38,465	45,586

(2) 教育事業・教育プログラム

「語らい座」は、ここに集い、未来を「語らい」、互いに学び合うことで、訪れる人が新たな発想を得、内なる力・思いに気付く catalyzer（触媒）でありたいとの願いから名付けられた。「社会に開かれた学校」と、地域で活躍する企業、町に生きる一人一人とを繋ぐ「結節点」を目指し、「未来育て」支援のプログラムを提供するものである。

① くらしき未来 K 塾

スタッフ配置等で平常の館運営に支障を来すことのないよう、オンライン形式での開催をせず、リアル（会場参加）のみでの開催とした。

37 回・43 回は、特別展期間中での関連セミナーだったが、毎回受講者評価が高いにも関わらず参加人数が伸びない点、特別展の広報も含めて今後の課題である。

倉敷市商工課主管の高梁川流域未来人材育成事業の一環として行う 3 回（*の付いたもの）のセミナーのうち、39 回・40 回については「キャリア教育指導者育成」という商工課の要望を踏まえ、充実した講師陣を用意したが、参加人数が伸びなかった点、商工課との広報連携に課題があった。

来年度は、事業自体の主管が商工課から労働雇用政策課へ移り、補助金も一端白紙に戻る。本来の趣旨を踏まえつつ、集客の見込める講師の人選をしていきたい。

<くらしき未来K塾 開催状況>

*については、高梁川流域未来人材育成事業の委託（補助金事業）として実施し、開催経費等の削減を図っている。

回	開催日	テーマ（演題）	講師	人数
第37回	7/22	特別展セミナー 「大原家の人々の嗜み」	水島 博 語り座 大原本邸学芸員	5
第38回	8/26	順九さんの寺子屋 ～心の絵巻物～	武藤 順九氏 彫刻家・画家	22
* 第39回	9/30	観光という「学び」～地域と世界 を結ぶ大学理事長の探究課題～	山本 健慈氏 学校法人大阪観光大学理事長 元和歌山大学学長	10
* 第40回	10/20	大学で試みた 人事部長の人作り奮戦記	中澤 二郎氏 ジローさんの迫熱教室主宰 元新日鉄ソリューションズ(株)人事部長	12
第41回	11/23	紅葉コンサート in 大原本邸	三船 文彰氏 三船歯科医院院長・チェリスト 荒木 渉氏 ピアニスト	45
* 第42回	12/23	商いは文化だ～この地から生まれ た商いの道とあきんど魂～	大原 謙一郎氏 大原家九代目当主	31
第43回	1/20	特別展セミナー 「大原家に残る書簡の数々 ～柳宗悦からの書簡を中心に～」	水島 博 語り座 大原本邸学芸員	12
合 計				137

② くらしき町家留学 ～共に学び、考え、語る、倉敷流儀の探究学習～

江戸時代、有力町人による高度な自治が行われ、大幅な営業の自由、村役人の選挙制度、「倉敷義倉」など、天領民主主義ともいべきシステムがあった倉敷。

そんな倉敷の「あきんど哲学」は、持続可能な社会作り、ボトムアップの社会福祉など、町衆精神として現代まで脈々と受け継がれてきた。大原家の社会貢献思想はその上に咲いた大きな花とも言える。この豊かな教育資源を活かし、大原家に関わり深い施設や建築・町並みでのフィールドワークを通して若者に「生きる指標」を感じ取ってもらいたい。

町家留学（課題発見型学習・Project based learning）では、体験・考察・振り返り・個別最適化などの実践で主体性・考察力、協働性・フォローシップ等の育成を目標とする。

フル研修から2～3時間の短期研修まで、また高校での「総合的な探究の時間」の一環としての研修として、学校での事前レクチャーとフィールドワークの組み合わせなどもあり、形式は様々なが、毎年来てくださる固定客も次第に増加し、新規のお客さまも増

えて、昨年の 298 名から 643 名と倍増した。種別では新入社員研修 6 企業、学校研修 5 校、一般研修 5 団体となっている。今後、企業においては日程を固定しての異業種交流研修、学校においては県外からの修学旅行（クラス別・班別研修）誘致が課題である。

修学旅行誘致について、令和 5 年度は愛知・群馬両県の教育旅行社・高校を訪問し、実際に誘致活動を行った。岡山県観光連盟、倉敷市観光課、倉敷観光コンベンションビューローとの連携、ベネッセコーポレーション・ラーズとの協力により、手ごたえと課題も明確になっている。2, 3 年のうちには新たな成果に繋がるものと期待している。

月日	種別	名称	人数
4 月 11 日	新入社員研修	(株)倉敷アイビースクエア・(株)倉敷国際ホテル・倉敷開発(株)	12
4 月 25 日	新入社員研修	第一生命保険(株)	14
4 月 26 日	一般研修	岡山県中小企業団体中央会	11
5 月 11・12 日	新入社員研修	岡山トヨタ自動車(株)	17
6 月 13 日	高校生研修	岡山県立倉敷中央高等学校 1 年生	256
7 月 12 日	一般研修	岡山県議会	14
10 月 4 日 12 日	新入社員研修	(株)中国銀行	106
10 月 8 日	一般研修	大学女性協会	13
10 月 18 日	小学生研修	倉敷市立蘭小学校 4 年生	37
10 月 25 日	新入社員研修	第一生命保険(株)	17
10 月 27 日	一般研修	津山市役所「津山シルバー大学」	18
11 月 1 日・2 日	一般研修	岡山県中小企業団体中央会 ／レディース中央会全国フォーラム	25
11 月 15 日	小学生研修	岡山市立蛸明小学校 6 年生	19
11 月 18 日	小中学生研修	津山高専 STEAM 教育事業	13
12 月 8 日	小学生研修	倉敷市立倉敷東小学校 4 年生	57
1 月 26 日	新入社員研修	第一生命保険(株)	14
合 計			643

(3) 特別展

今年度は、7月「大原家の人々の嗜み」展、1月「大原家に残る書簡の数々～柳宗悦からの書簡を中心に～」展、と2回の特別展を開催。会期中にその内容や意図をわかりやすく解説するセミナーを、「くらしき未来K塾」の一環として7月22日(土)、1月20日(土)の二回、企画・開催した。学術的な内容を小学生から高齢者まで多彩な参加者で楽しむことのできる取組となった。来年度以降、さらなる広報の工夫を重ねながら継続していきたい。

2. 大原孫三郎・總一郎記念講演会

本講演会は、大原孫三郎によって明治35年創設され、大正14年まで76回開催された「倉敷日曜講演」に始まり、「敬堂記念講演会」「大原孫三郎・總一郎記念講演会」と名前を変え、有隣会の主要行事となった。

令和5年度は、「第67回大原孫三郎・總一郎記念講演会」及び高校生プレセッションを次のとおり開催した。

日 時 令和5年7月27日(水) 18:30～20:00

場 所 倉敷公民館 大ホール

講 師 野依 良治 氏 (名古屋大学特別教授・ノーベル化学賞受賞者)

演 題 「日本人の科学する心とは」

* 〈高校生プレセッション〉

日 時 令和5年7月27日(水) 16:00～17:00

場 所 語らい座 大原本邸 ブックカフェ

参加者 倉敷市・岡山市内の化学者・化学の道を志す高校生 25名

3. 所蔵資料の整理、調査、研究及び公開

大原家が所蔵している大原孫三郎・總一郎に関する書簡・書籍など諸資料の分類整理を継続的に行っている。

本年度においては約1,000点の資料整理を行った。

4. 大原總一郎日記研究会

大阪大学名誉教授 阿部武司氏を中心とする9名の研究者グループにより、大原總一郎日記(全111冊)の研究を継続しており、本年度は4回の研究会を開催した。

研究会ではこれまで（仮翻刻）大原総一郎日記5冊を刊行してきたが、本年度は仮翻刻の刊行に替え、初めてとなる研究成果の報告会を開催した。報告内容は大原総一郎の、活動、思想に関する広範囲、また詳細な内容で非常に興味深い報告となった。

《大原総一郎日記研究会 報告会》

開催日 令和5年11月25日

場 所 語らい座 大原本邸 ブックカフェ

報告者・テーマ

報告者	テーマ
阿部 武司 氏 (大阪大学 名誉教授)	物価庁次長時代前後における大原総一郎の社会思想
廣田 誠 氏 (大阪大学大学院 教授)	大原総一郎の旅について —鉄道による移動を中心に—
平野 恭平 氏 (甲南大学経営学部 教授)	ビニロンをめぐる大原総一郎の内面への感情史的 アプローチ

以上

*事業報告の附属明細書はありません。

貸借対照表

2024年 3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	36,309,427	32,081,013	4,228,414
売掛金	58,920	284,080	△ 225,160
商品	20,898	20,898	0
流動資産合計	36,389,245	32,385,991	4,003,254
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	106,192,122	112,939,134	△ 6,747,012
建物附属設備	41,552,408	48,550,676	△ 6,998,268
構築物	4,192,297	4,837,645	△ 645,348
機械及び装置	8	484,544	△ 484,536
器具及び備品	7,282,781	10,866,593	△ 3,583,812
商標権	375,880	469,840	△ 93,960
ソフトウェア	0	15,120	△ 15,120
その他固定資産合計	159,595,496	178,163,552	△ 18,568,056
固定資産合計	162,595,496	181,163,552	△ 18,568,056
資産合計	198,984,741	213,549,543	△ 14,564,802
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	208,387	193,031	15,356
預り金	356,008	132,794	223,214
未払消費税等	306,900	0	306,900
流動負債合計	871,295	325,825	545,470
2. 固定負債			
長期借入金	185,900,000	200,900,000	△ 15,000,000
固定負債合計	185,900,000	200,900,000	△ 15,000,000
負債合計	186,771,295	201,225,825	△ 14,454,530
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
国庫補助金	9,066,660	9,176,932	△ 110,272
指定正味財産合計	12,066,660	12,176,932	△ 110,272
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	146,786	146,786	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	12,213,446	12,323,718	△ 110,272
負債及び正味財産合計	198,984,741	213,549,543	△ 14,564,802

正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,090,000	4,090,000	0
特別会費	3,500,000	3,500,000	0
普通会費	200,000	200,000	0
賛助会費	390,000	390,000	0
事業収益	31,225,707	25,120,074	6,105,633
受取入館料	23,299,107	18,670,674	4,628,433
記念館事業収益	7,926,600	6,449,400	1,477,200
受取補助金等	110,272	7,594,838	△ 7,484,566
受取助成金	699,600	0	699,600
受取寄附金	25,120,000	25,950,000	△ 830,000
雑収益	4,000	11,300	△ 7,300
受取利息	343	264	79
経常収益計	61,249,922	62,766,476	△ 1,516,554
(2) 経常費用			
事業費	58,952,312	60,443,277	△ 1,490,965
人件費	25,873,282	26,696,884	△ 823,602
法定福利費	2,320,847	2,485,327	△ 164,480
福利厚生費	518,423	645,121	△ 126,698
材料仕入	1,870,183	1,411,488	458,695
水光熱費	1,400,519	1,533,611	△ 133,092
清掃費	230,362	504,548	△ 274,186
修繕費	35,530	183,700	△ 148,170
諸謝金	716,339	443,208	273,131
旅費交通費	760,150	479,208	280,942
通信運搬費	522,690	451,771	70,919
印刷製本費	1,029,511	1,087,745	△ 58,234
広報費	180,000	311,220	△ 131,220
賃借料	422,400	397,200	25,200
リース料	523,446	1,026,270	△ 502,824
消耗品費	642,870	907,615	△ 264,745
諸会費	91,500	53,000	38,500
租税公課	2,183,080	2,179,000	4,080
保険料	18,790	18,490	300
手数料	209,545	204,695	4,850
セミナー費	371,050	0	371,050
雑費	89,638	41,800	47,838
減価償却費	18,568,056	19,204,314	△ 636,258
業務委託費	39,000	0	39,000
会場関係費	156,556	103,290	53,266
接過費	177,295	73,172	104,123
雑損失	1,250	600	650
管理費	2,297,610	2,323,199	△ 25,589
通信運搬費	156,266	156,935	△ 669
会議費	36,316	3,420	32,896
消耗品費	43,307	22,000	21,307
租税公課	0	2,540	△ 2,540
手数料	1,375	1,925	△ 550
雑費	95,980	127,380	△ 31,400
支払利息	1,964,366	2,008,999	△ 44,633
経常費用計	61,249,922	62,766,476	△ 1,516,554
評価損益等調整前当期経常	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産除却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
過年度遡及特別損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	146,786	146,786	0
一般正味財産期末残高	146,786	146,786	0
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	△ 110,272	△ 5,851,238	5,740,966
受取国庫補助金	△ 110,272	△ 5,851,238	5,740,966
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取配当金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 110,272	△ 5,851,238	5,740,966
指定正味財産期首残高	12,176,932	18,028,170	△ 5,851,238
指定正味財産期末残高	12,066,660	12,176,932	△ 110,272
III 正味財産期末残高	12,213,446	12,323,718	△ 110,272

正味財産増減計算書内訳表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	公1			法人会計(有隣会)	合計
	大原本邸事業	有隣会継続事業	小計	法人会計	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	0	4,090,000	4,090,000	0	4,090,000
特別会費	0	3,500,000	3,500,000	0	3,500,000
普通会費	0	200,000	200,000	0	200,000
賛助会費	0	390,000	390,000	0	390,000
事業収益	28,928,097	0	28,928,097	2,297,610	31,225,707
受取入館料	21,001,497	0	21,001,497	2,297,610	23,299,107
記念館事業収益	7,926,600	0	7,926,600	0	7,926,600
受取補助金等	110,272	0	110,272	0	110,272
受取助成金	0	699,600	699,600	0	699,600
受取寄附金	15,000,000	10,120,000	25,120,000	0	25,120,000
雑収益	0	4,000	4,000	0	4,000
雑収益	0	4,000	4,000	0	4,000
受取利息	202	141	343	0	343
経常収益計	44,038,571	14,913,741	58,952,312	2,297,610	61,249,922
(2) 経常費用					
事業費	50,956,655	7,995,657	58,952,312	0	58,952,312
人件費	20,635,853	5,237,429	25,873,282	0	25,873,282
法定福利費	1,456,834	864,013	2,320,847	0	2,320,847
福利厚生費	162,852	355,571	518,423	0	518,423
材料仕入	1,870,183	0	1,870,183	0	1,870,183
水光熱費	1,400,519	0	1,400,519	0	1,400,519
清掃費	230,362	0	230,362	0	230,362
修繕費	35,530	0	35,530	0	35,530
諸謝金	716,339	0	716,339	0	716,339
旅費交通費	138,940	621,210	760,150	0	760,150
通信運搬費	388,857	133,833	522,690	0	522,690
印刷製本費	898,733	130,778	1,029,511	0	1,029,511
広報費	15,000	165,000	180,000	0	180,000
賃借料	355,700	66,700	422,400	0	422,400
リース料	516,186	7,260	523,446	0	523,446
消耗品費	625,013	17,857	642,870	0	642,870
諸会費	61,500	30,000	91,500	0	91,500
租税公課	2,182,600	480	2,183,080	0	2,183,080
保険料	18,790	0	18,790	0	18,790
手数料	137,355	72,190	209,545	0	209,545
セミナー費	371,050	0	371,050	0	371,050
雑費	84,138	5,500	89,638	0	89,638
減価償却費	18,568,056	0	18,568,056	0	18,568,056
業務委託費	39,000	0	39,000	0	39,000
会場関係費	12,320	144,236	156,556	0	156,556
接遇費	33,695	143,600	177,295	0	177,295
雑損失	1,250	0	1,250	0	1,250
管理費	0	0	0	2,297,610	2,297,610
通信運搬費	0	0	0	156,266	156,266
会議費	0	0	0	36,316	36,316
消耗品費	0	0	0	43,307	43,307
手数料	0	0	0	1,375	1,375
雑費	0	0	0	95,980	95,980
支払利息	0	0	0	1,964,366	1,964,366
経常費用計	50,956,655	7,995,657	58,952,312	2,297,610	61,249,922
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,918,084	6,918,084	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,918,084	6,918,084	0	0	0
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,918,084	6,918,084	0	0	0
一般正味財産期首残高	203,532,490	84,524,323	288,056,813	△ 287,910,027	146,786
一般正味財産期末残高	196,614,406	91,442,407	288,056,813	△ 287,910,027	146,786
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	△ 110,272	0	△ 110,272	0	△ 110,272
受取国庫補助金	△ 110,272	0	△ 110,272	0	△ 110,272
当期指定正味財産増減額	△ 110,272	0	△ 110,272	0	△ 110,272
指定正味財産期首残高	△ 77,833,095	0	△ 77,833,095	90,010,027	12,176,932
指定正味財産期末残高	△ 77,943,367	0	△ 77,943,367	90,010,027	12,066,660
III 正味財産期末残高	105,972,909	91,320,217	197,293,126	△ 185,079,680	12,213,446

財産目録

2024年 3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金	722,756
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	12,605,958
		普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	22,980,713
	売掛金		入館料等	58,920
	商品		珈琲豆等	20,898
流動資産合計				36,389,245
(固定資産)	基本財産	定期預金 中国銀行倉敷駅前支店	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他の固定資産	建物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	106,192,122
	建物附属設備	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	41,552,408
	構築物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	4,192,297
	機械及び装置	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	8
	器具及び備品	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	7,282,781
	商標権		公益目的保有財産	375,880
固定資産合計				162,595,496
資産合計				198,984,741
(流動負債)	買掛金		公益目的事業を行うために必要な諸経費に対する未払金	208,387
	預り金		源泉所得税、社会保険料等	356,008
	未払消費税			306,900
流動負債合計				871,295
(固定負債)	長期借入金	個人より借入	記念館事業における設備投資の為	185,900,000
固定負債合計				185,900,000
負債合計				186,771,295
正味財産				12,213,446

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物、建物附属設備、構築物は定額法によっている。

上記以外の有形固定資産は定率法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(直説法により減価償却を行っている場合)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	146,674,199	40,482,077	106,192,122
建物附属設備	83,542,011	41,989,603	41,552,408
構築物	8,064,360	3,872,063	4,192,297
機械及び装置	4,918,320	4,918,312	8
器具及び備品	49,226,950	41,944,169	7,282,781
無形固定資産	4,957,280	4,581,400	375,880
合 計	297,383,120	137,787,624	159,595,496

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

該当なし。

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
キャリア教育指導者育成事業	倉敷市	0	699,600	699,600	0	該当なし
合 計		0	699,600	699,600	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

記念館事業に対する国庫補助金のうち110,272円を一般正味財産に振替。

14. 関連当事者との取引の内容

属性	氏名	取引内容	勘定科目	取引金額	金利
評議員	大原謙一郎	資金の借入	長期借入金	185,900,000	元金の1%

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当なし。

16. 重要な後発事象
該当なし。

17. その他
財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。

以上